

(4) 本時の展開

学習活動(分)	教師の働き掛けと予想される子どもの反応	・指導上の留意点 ◇評価
<p>1 低音楽器の音色が違う2種類の範奏を聴く。</p> <p>2 イメージに合った演奏をするには楽器の組み合わせを工夫するとよいことを確認し、④パートの音色についてグループで決定する。</p> <p>(8分)</p>	<p>○「ラバースコンチェルト」の二つの演奏を聴きます。二つの演奏はどんなところが違いますか。</p> <p>何だか感じが違うぞ。</p> <p>④パートを演奏している低音楽器の音色が違う。</p> <p>一つ目の演奏はポンポンとはずむ感じがする。</p> <p>一つ目の演奏は、ズンズン力強い感じがする。</p> <p>二つ目は、のびる音で重い感じがする。</p> <p>二つ目の音色は明るい。</p> <p>○楽器の音色が違うと演奏の感じが違うことに気が付きましたね。自分たちのグループのイメージには、どちらの音色が合っているでしょうか。</p> <p>コントラバスは、軽い感じがする音色だから「明るくはずむラバース」イメージに合うね。</p> <p>ファゴットの音色はおもい感じがするので「力強いラバース」のイメージだ。</p> <p>「かがやきラバース」には明るい音色のファゴットが合うよ。</p> <p>「きらきら宝石」にははねる感じのコントラバスにしよう。</p>	<p>・低音楽器の音色を「コントラバス」「ファゴット」にして、2種類の範奏を聴かせる。</p> <p>・2種類の音色が「コントラバス」と「ファゴット」であることを知らせ、音色について子供が感じ取ったことを板書する。</p> <p>・感じを表す言葉の例を示した「音のクレヨンカード」を活用させる。</p> <p>・音色が表す感じを根拠に「コントラバス」「ファゴット」のどちらかをグループで選ばせる。</p>
<p>3 学習課題を確認する。</p> <p>4 ②パートと④パートの楽器の組み合わせについて考える。</p> <p>5 グループで楽器の組み合わせについて演奏を通して考える。</p> <p>(32分)</p>	<p>○グループで選んだ④パートの音色に組み合わせる②パートの楽器の音色はどんな楽器がよいでしょうか。</p> <p>自分たちのイメージに合う楽器の組み合わせを工夫しよう</p> <p>○②パートと④パートの楽器の組み合わせについて工夫しましょう。②パートは電子オルガンによる「木琴」「鉄琴」の音色から選びましょう。</p> <p>○「木琴」「鉄琴」の音色は、どんな感じがしますか。</p> <p>「木琴」はポンポンとはずんだ感じがします。</p> <p>「木琴」は、はねる感じの音色です。</p> <p>「鉄琴」は、きらきらと明るい感じの音色です。</p> <p>「鉄琴」は、華やかな感じがします。</p> <p>○グループで選んだ④パートの音色に「木琴」「鉄琴」を組み合わせで演奏して比べてみましょう。</p> <p>【思考が発揮されている子供の発言・記述の例】</p> <p>「軽い+はずんだ」で「木琴+コントラバス」が鉄琴よりいいな。</p> <p>「明るい+明るい」だから「鉄琴+ファゴット」の方が「かがやき」に合う。</p> <p>「鉄琴+コントラバス」が「きらきら+はねる」で「宝石ラバース」だ。</p> <p>「はずむ+おもい」で「力強いラバース」のイメージには「木琴+ファゴット」がいいよ。</p> <p>「鉄琴」の組み合わせに比べると、「木琴」はよりはずんだ感じが強くなる。</p> <p>「木琴」の木のはずむ音に比べて、鉄琴の明るい音色の方がぐっと明るい感じになる。</p> <p>はねるコントラバスに光る感じの鉄琴を組み合わせると、木琴より一層、光る感じが強くなる。</p> <p>「鉄琴+ファゴット」と「木琴+ファゴット」を比べると木琴の方が響きが力強い。</p>	<p>・本時の課題を提示する。</p> <p>・活動するグループは生活班を中心とした8～9名の4グループに分かれる。</p> <p>・電子オルガンで「木琴」「鉄琴」の音色を聴かせる。</p> <p>・「木琴」「鉄琴」の音色について子供が感じ取ったことを板書で整理する。</p> <p>・音色や響きを根拠にした発言が出てこない場合は、音色を言葉で表現させ、感じを表す言葉の例を示した『「ポンポン」という音のする木琴はどんな感じがするでしょうか』のような補助発問をして音色や響きが表す感じを根拠に考えさせる。</p> <p>・拍の流れに乗って演奏できない子供には、側で一緒に演奏したり、階名を歌ったりして支援する。</p> <p>・途中で、それぞれのグループだけで演奏する時間を設定し、音色や響きを確認させる。</p> <p>◇イー①自分たちのイメージに合う楽器の組み合わせを工夫している。</p> <p>【評価方法】 ワークシートの記述及び発言から評価する。</p> <p>【具体的な評価例】 自分たちのイメージに合う楽器について楽器の音色が表す感じを基にワークシートに記述している。</p> <p>【Aと判断する場合の具体例】 □上記の姿に加え、楽器の組み合わせについて他の楽器の音色と比べたり組み合わせた響きを意識したりした発言、または記述をしている。(発言、記述の例は左記教師の働き掛けと予想される子供の反応部分)</p> <p>【Cと判断される状況への働き掛け】 □根拠を書かず、自分の好みだけで選んでいる状態である。 ・「本当にイメージに合っているかな」と声を掛け、音色から受ける感じを提示してある板書を確認させ、組み合わせを一緒に考える。</p>
<p>6 本時の振り返りをする。</p> <p>(5分)</p>	<p>○自分たちのイメージに合う楽器の組み合わせを工夫することができましたね。今日の演奏を振り返って、イメージに1番合うと思う楽器の組み合わせとそう思う理由を書きましょう。</p> <p>私は、「力強くガンガン」のイメージには「木琴+コントラバス」がはずんだ感じがするから一番だと思いました。</p> <p>「鉄琴+コントラバス」の方が「木琴+コントラバス」と比べて華やかな響きがするので、私は「明るくはずむ」イメージには一番の組み合わせだと思います。</p> <p>初めは、「木琴+ファゴット」の明るい響きで1番だと思っていましたが、「鉄琴+ファゴット」の方が、より明るく輝く響きになるので「鉄琴+ファゴット」の組み合わせにしました。</p> <p>○次の時間は、もっと他に工夫することはないかグループで考えて演奏を仕上げましょう。</p>	

